

# Tidal Enterprise Scheduler : ジョブ ユーザの Ulimits の設定に戻されたエラー

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料はのための原因を説明したものです: - User ulimits 。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Unix エージェント 3.0.1.09 またはそれ以降に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 問題

UNIX エージェントのビルド 3.0.1.09 では Linux の /etc/security/limits.conf からの設定ユーザ

ulimit 値をサポートするために、機能拡張はエージェントに追加されました。

## [解決策](#)

エージェント マシンで、エージェントのインストールに行けば、bin フォルダは tagent.ini ファイルです。tagent.ini ファイルにこのパラメータを追加して下さい:

```
ulimitold=y
```

注: パラメータは大文字/小文字の区別があります。エージェントはパラメータが tagent.ini ファイルに追加された後停止し、再起動する必要があります。y にパラメータを設定した場合、システム設定を使用するためにエージェントを強制します。エージェントを /etc/security/ にある limits.conf フォルダを使用するために強制するために n にパラメータを置いて下さい。

## [関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)